

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 592 号	氏名	石坂 俊輔
学 位 審 査 委 員		主 査	李 桃生
		副 査	平野 明喜
		副 査	高橋 晴雄
論文審査の結果の要旨			
1 研究目的の評価			
本研究は、脳梗塞に対する幹細胞治療の機能回復効果について、経動脈内投与の有用性と移植時期の及ぼす影響を明らかにするもので、目的は十分に妥当である。			
2 研究手法に関する評価			
ラット脳虚血再灌流後の 1, 4, 7 日目に、内頸動脈よりヒト骨髄由来間葉系幹細胞(1×10 ⁶ 個)を投与し、組織学染色法やラットの行動分析により、移植幹細胞の生存状況、局所組織学所見、および脳神経機能などを詳しく解析したもので、研究手法も妥当である。			
3 解析・考察の評価			
上記手法で解析した結果、投与時期が移植幹細胞の生存および脳神経再生修復などの治療効果に大きく影響し、1 日目投与では梗塞範囲の縮小が得られ、4 日目の投与によっても脳神経機能が有意に改善されたことを明らかにした。今後の脳梗塞に対する幹細胞治療研究と臨床応用への進展が大いに期待される。			
以上のように本論文は脳梗塞治療研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。			